

## 主張

平成30年5月27日、津市の三重大学生物資源学部大講義室において全国保険医団体連合会会長住江憲勇氏による「どうなる、どうする社会保障制度 ホントにお金がないの？財源問題から考える」の市民公開講座が行われた。

今、安倍政権は一路改憲、新自由主義国家作り、新自由主義国家とは徴税、軍事、外交、公共事業などである。この中で社会保障が改悪されてきた。これだけ安倍政権はやることなすこと不条理

で不誠実であるにもかかわらず、支持率はそれほど下がらない。しかも国民の生活実感は苦しい。こんなかい離はあるはずがない。国民に向かっての世論操作として自己責任論の徹底、財源論の徹

している、この状態では、自己責任を問うのは無理である。国の財源論では1000兆円を越す借金があると宣伝している。消費税導入の1989年後、消費税収328兆円に対し、この間の法人

企業、富裕層への減税による税収不足による。世界一企業活動のしやすい国作りのために企業、富裕層の税を減らし、国民の税と負担を拡大する、これが元凶である。この税収不足を元に戻す

師・歯科医師層の切実な要求とされ、すでに政府への働きかけが行われている。

こうして貧困と格差拡大、社会保障崩壊の中で保険医だけで要求の実現は困難である。国民、労働者の各分野、各階層の人々と共鳴し合った国民的な運動と戦いこそが要求実現の展望である。医療分野以外の要求には無関心であるという態度では国民の切実な立場に背を向けることになる。今こそ地域で医療を担い、診療所を通じて連携を保ち、人々の信頼と責任を持つ保険医が先頭に立ち、運動しなければならぬ。こう会長は熱く述べた。これに沿って三重協会も運動していこう。

# どうなる、どうする 社会保障制度

底、社会保障概念の破壊を行ってきた。自己責任を問えるのは、雇用と賃金が確保され社会保障が十分機能している場合のみである。国民の労働分配率が引き下げられて低賃金と失業の危機にひん

税271兆円、所得税・住民税260兆円の各減税があった。消費税収の1・6倍に及ぶ、大企業、富裕層への優遇である。1000兆円の借金の最大の要因は、社会保障費支出の増加ではなく、大

ことが喫緊の課題である。雇用と賃金が増し、社会保障が充実すれば購買力が増え経済が拡大し、財政の健全化へと導くはずである。こうした考えはすでに協会、医会、保団連およびおのおのの医

会も運動していこう。